

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 訓練用機械等整備費（公共）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3667)

E-mail : c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,825千円 (前年度予算額) 24,992千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	24,992	12,496	0	0	0	0	0	0
要求額	21,825	10,912	0	0	0	0	0	10,913
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

国際たくみアカデミー職業能力開発校（美濃加茂市）及び木工芸術スクール（高山市）において、企業の現場で即戦力となる技能・技術者の養成に必要な職業訓練を実施するにあたり、充実した訓練を図るため必要な訓練用機械の計画的な整備を実施する。

(2) 事業内容

訓練用機械器具の整備

老朽化に伴う更新等。

- ・国際たくみアカデミー職業能力開発校 (17,565千円)
- ・木工芸術スクール (4,260千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

職業能力開発設備整備等補助金充当（厚生労働省）

- ・購入費の1／2補助

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	21,825	訓練用備品
合計	21,825	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発訓練施設において実施している職業訓練で必要な機器を適正な訓練実施のために更新等を実施する。令和8年度は、国際たくみアカデミーで6機種、木工芸術スクールで1機種の機器整備の更新等を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

職業訓練を実施するために必要な機器について整備するものであり、数値的な指標を設けることは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none">・機器の更新により、訓練内容の充実を図ることができた。 <table><tbody><tr><td>自動車エンジニア科</td><td>4件</td></tr><tr><td>設備システム科</td><td>3件</td></tr><tr><td>住宅建築科</td><td>2件</td></tr><tr><td>木工科</td><td>5件</td></tr></tbody></table>	自動車エンジニア科	4件	設備システム科	3件	住宅建築科	2件	木工科	5件
自動車エンジニア科	4件								
設備システム科	3件								
住宅建築科	2件								
木工科	5件								
令和5年度	<ul style="list-style-type: none">・機器の更新により、訓練内容の充実を図ることができた。 <table><tbody><tr><td>自動車エンジニア科</td><td>4件</td></tr><tr><td>設備システム科</td><td>4件</td></tr><tr><td>住宅建築科</td><td>3件</td></tr><tr><td>木工科</td><td>5件</td></tr></tbody></table>	自動車エンジニア科	4件	設備システム科	4件	住宅建築科	3件	木工科	5件
自動車エンジニア科	4件								
設備システム科	4件								
住宅建築科	3件								
木工科	5件								
令和6年度	<ul style="list-style-type: none">・機器の更新により、訓練内容の充実を図ることができた。 <table><tbody><tr><td>自動車エンジニア科</td><td>4件</td></tr><tr><td>設備システム科</td><td>1件</td></tr><tr><td>住宅建築科</td><td>4件</td></tr><tr><td>木工科</td><td>2件</td></tr></tbody></table>	自動車エンジニア科	4件	設備システム科	1件	住宅建築科	4件	木工科	2件
自動車エンジニア科	4件								
設備システム科	1件								
住宅建築科	4件								
木工科	2件								

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	企業の現場で即戦力となる技能・技術者の養成に必要な職業訓練を実施するにあたり必要な訓練用機器を整備する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	訓練実施に必要な機器等を整備することにより、企業の現場で即戦力となる技能・技術者の養成を実施することができる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	老朽化した訓練用機器、新たに必要となる訓練用機器など計画的な整備を実施することができる。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

老朽化した訓練用機器の整備と新たに必要となる訓練用機器の計画的な整備が必要である。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
各校の機器整備状況に応じて、計画的に更新していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	